

平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 25 日

評価対象事業		評価者	環境保全課長	丸山剛
環境-15 公害等対策事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	環境保全課
		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	下水道河川課、消防本部等
総合計画上の位置付け	分野	生活環境	施策の方針	環境汚染の防止

1 事業の目的

対象	市民及び事業者等
意図	事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。
効果	事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

2 平成26年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善勧告命令を行った。</li> <li>・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。</li> <li>・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。</li> <li>・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備の充実を図った。</li> <li>・生活排水による公共水域の水質汚濁を防止するため、下水道認可区域外の地域での合併処理浄化槽の設置を推進した。</li> <li>・「水道法」及び「小規模水道及び小規模受水槽水道に関する条例」に基づく届出受理、検査等による水道衛生対策を行った。</li> </ul>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算	備考
人口等のデータ	人口 177,243人 世帯数 80,676世帯 事業の対象者数	人口 177,464人 世帯数 80,368世帯 事業の対象者数		・各年3月31日 (住民基本台帳)
運営資源状況	当初予算(千円) 8,845 国県支出金 550 地方債 その他 一般財源 8,295 人員配置数 3.0 人件費(千円) 22,883	決算値(千円) 7,331 国県支出金 237 地方債 その他 一般財源 7,094 人員配置数 3.0 人件費(千円) 22,327		
事業運営	総事業費(千円) 31,728 市民1人当りの経費(円) 179 対象者1人当りの経費(円)	総事業費(千円) 29,658 市民1人当りの経費(円) 167 対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	騒音や悪臭等の感じ方には、個人差があり早期の解決が難しい場合がある。また、河川の白濁など(水質事故)の通報を受けて、被害防止等の対応を緊急出動して行っているが、発生源の特定が難しく、特定しても事業者等の河川を汚したとの認識が低く対応に苦慮している。深夜花火防止対策については、深夜花火防止パトロールにおける協力員の高齢化や迷惑防止条例の施行に伴い、警察署を主体とした体制を整える必要がある。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	通報・苦情等があれば、緊急出動などできる限り現場対応を行い状況を把握したうえで、発生源に対して適切に対応できるように指導を行った。深夜花火パトロールについては、地元住民と対応策についての協議を行い、関係機関との体制の充実を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題 新たな課題	騒音や悪臭等の感じ方には、個人差があり早期の解決が難しい場合がある。また、水質事故については、迅速な対応に努めているが、発生源の特定に至らない場合が多い。深夜花火業務は特別対策区域の地元自治会・町内会の協力員の高齢化により連携が困難になりつつある。	
効率性	事業費に削減余地はないか 関連・類似事業との統合はできないか	2. ない 3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか 事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい 今後も市が実施すべき事業か	3. 変わらずにある 3. 廃止・休止による影響は大きくある 5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか 事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 十分な成果が出ている 4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input type="radio"/> 未導入済 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	<input type="radio"/> 協働実施済 <input type="radio"/> 未実施済 ○-2. 既に市民等と協働して適格に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 自治会・町内会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直し類の <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直し類の 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 近年騒音や臭気等の苦情は増加する傾向にあり、それに対応する業務の縮小は難しい。また、環境調査も環境に対する市民意識の向上から、常に現状を把握する必要があるため、事務の維持継続が求められる。なお、一部業務には法定受託事務が含まれている。
総評	騒音や臭気等は感じ方に個人差が大きく、その対応にはこれまでも苦慮しており、環境に対する意識の高まりから近年それらの苦情が増える傾向にある。市民の様々なニーズに対応するためにも今後もきめ細かい対応が必要になると考えられる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	公害苦情処理率					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
公害苦情に対して早期の解決を目指すため	目標値	100.0								
	実績値	60.0								
	達成率	60.0%								

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方									
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---